

ただいま議長より発言の許可をいただきましたので、通告に従いまして順次質問させていただきます。

その前に本日は結城市議会議員一般選挙において初めて当選を果たさしていただき、最初の一般質問でもありますので、少し所感を述べさせていただきます。

3月11日に発生しました東日本大震災により被害または被災をうけられた皆様方に、心より哀悼の意を表すると共に心よりお見舞い申し上げます。

警察庁の発表では、6月6日現在で死者15,365人、行方不明者8,206人、避難者98,505人と発表されています。本県でも死者24人と行方不明者1人そして、255人の福島県からの避難者が居られると伺っています。一日も早い復興をご祈念申し上げます。

また結城市においても被災された方々に、お見舞申し上げます。

今回の市議選は、22人の立候補者の中から投票で、19人の枠の中に入れた結果に終わりました。未曾有の震災の直後と初めての選挙戦の中で、数々の市民の方と対話する中で、市民の皆さんから大変多くの御意見や御要望をいただきました。数々の期待の声もありましたが、厳しいおしかりの声も数多く寄せられました。それらの市民の声を真摯に受けとめ、4年間市民のために、そして市政発展のために全身全霊で働いて参る決意です。そして1年生議員です。情熱に燃えております。この情熱を熱伝導し、1人でも多くの方に伝え、期待を信頼に変えられるよう、取り組んで参ります。

それではさきの通告に従いまして、2項目の質問をさせていただきます。

1項目目は総務行政についてお伺いいたします。

先ほども述べさせていただきました通り、新人なのでこれから何をバックボーンに取り組むか？ということですが、地域づくりの最上位に位置づけられる、総合計画に沿って取り組んで参りたいと思いますので、その総合計画についてお伺いします。

昭和44年地方自治法改正により、総合計画の策定が地方自治体に義務付けられ、結城市も昭和48年から結城市総合計画が策定され基本姿勢である

「すぐれた社会基盤に培われる市民のまち結城市の建設」がスタートし

昭和48年給食センターが完成

昭和54年県立結城養護学校そして

昭和55年結城西小が開校し高度経済成長期の中、次々にインフラの整備が進みました。

昭和57年からは第2次結城市総合計画が「調和のとれた豊で住みよいまちづくり」を将来像として

昭和58年長井市と姉妹都市締結

昭和 59 年城西小開校

昭和 62 年結城東中が開校され安定成長経済期の中に数々の整備実績があげられました。

平成 3 年からは第 3 次結城市総合計画が「個性と活力と創造のまちづくり」を将来像として取り組まれましたが、バブル経済の崩壊の影響から雇用問題の深刻化、デフレスパイラルの中でも

平成 3 年市民文化センターアクロスのオープン

平成 5 年看護学校の開校

平成 8 年メッセ市と姉妹都市の締結

平成 9 年鹿窪体育館アリーナのオープン等をし第 4 次総合計画へとつないできました。

平成 13 年からは「みどりと歴史のいきいき文化創造都市・結城」を将来像としてスタートした第 4 次結城市総合計画は、「21 世紀の国土のグランドデザイン」を背景に国民意識の大転換期を迎えようとしてきました。

その様な経緯をたどってきた、第 4 次総合計画の成果と課題点を踏襲されて第 5 次総合計画が策定されたと思います。つきましては、これまでの成果と課題それと、第 5 次結城市総合計画についてお伺いしたいと思います。

次に 2 項目目の教育行政についてです。

未来をになう青少年の健全育成についてお伺いいたします。

昨今の学校教育を取り巻く社会情勢を見ると

- ・国際化の進展により、国際社会に通用する創造性やコミュニケーション力を身につけること
- ・高度情報化の進展より、必要な情報を適切に選択し活用する力や情報モラルを身につけること
- ・少子高齢社会の到来により、集団生活の体験が不十分な子どもの増加や、親の子育て経験不足等から懸念される中、社会・家庭・地域の教育力を高めること。また、高齢社会を向かえ互いに支えあう力が必要になっていること
- ・科学技術の発展により、ものづくりの関心を高め創造力をのばすとともに、生産や使用の是非を適切に判断する倫理観を高めること
- ・環境問題の高まりにより、自然との共生について考え自ら環境保全に努めようとする事
- ・価値観の多様化により、社会生活を営む上での最低限身につけるべきものは何かが問われている

これからは、国際化・高度情報化・少子高齢化・科学技術・環境問題・価値観が必要となっていると思います。

その様な状況の中で、小中学生の学力を見ますと文部科学省が行っている全国学力・学習調査によると、全国 47 都道府県ある中で、全国平均は 29 位のラインにありますが、茨城県に於いては 35 位と、平均よりも下という結果でした。

また、関東 1 都 6 県の中でも最下位というような状況です。

しかし、体力面では 2010 年全国体力テストでは小学生男女・中学生男女の 4 部門全てでベスト 4 以内に入る好成績でした。

この事を踏まえ第 5 次結城市総合計画の中の基本施策でもある「生きる力を育む教育環境」の現況についてお伺いしたいと思います。

これで 1 回目の質問を終わります。

ご答弁よろしく申し上げます。